

## 平成24年7月7日 コウノトリと私たちのオトナな関係

コウノトリは人に懐くの？という質問が寄せられることがあります。

毎日餌をやって世話をしている飼育員は、ふっくんさっちゃんとはもうすっかりお友達なんだろうなあ、うらやましいなあと思うかもしれません。

ところが実際、ふっくんさっちゃんは、飼育員に、全然懐いていません！

ごはんをもらう時も、なるべく人間とは遠～くなるように距離をとって待っています。飼育員も、コウノトリを驚かさないように、大きな音を立てないように気をつけながらささっと作業を済ませます。そして速やかにケージを離れます。ごはんの食べっぷりなどは、事務所に帰ってから、モニターでチェックします。私たちとコウノトリは、とってもドライな、オトナな関係なんですよ。



コウノトリは、自然の仲間です。ペットとは違います。

野生動物が人間に慣れすぎて、道路に出てきて車にひかれてしまう事故も起こっています。お互いに、いいことではありません。

ふっくんさっちゃんは、兵庫県豊岡市のコウノトリ郷公園にいた時は、飼育員だけが入ることの出来るエリアで飼育されていて、一般のお客さんには公開されていませんでした。

なので、福井県の施設でも、一般のお客さんには、100mほど離れて観察してもらっています。

地元の方たちがご厚意で双眼鏡を置いてくださっていますので、是非ご利用くださいね！

このボックスの中に入っています！



でも、カエルくんの休憩場所になっていることがしょっちゅうあります。



「僕のためにこんないいおうちを建ててくれてありがとう！でもこの家具は一体なんだい？」